



—健康・生活・安心サポート—

健康生活を守るための **介護予防・介護する人の支援**

兵庫医療大学・神戸女子大学・神戸女子短期大学では、それぞれの大学の特色を生かした「介護予防」「介護する人の支援」に関する講座を実施しています。皆様のご参加をお待ちしております。

第28回

「認知症になってもできるだけ自分らしく過ごすために」

—早期に気づくには、地域で支えるには—

日時：2015年 **11月21日**（土）14：00～16：00



参加無料

場所：兵庫医療大学 地域連携実践センター

定員：30名（申込者多数の場合は抽選）

※抽選結果は追ってご連絡致します。

締切：11月16日（月）



第一部講演：認知症の早期発見

兵庫医療大学 看護学部 土井 有羽子 准教授

第二部講演：一人ひとりができること

港島あんしんすこやかセンター 職員

終了後、グループワーク

【お申し込み先】ポータル健康・生活支援ステーション（兵庫医療大学内）

①氏名 ②ご住所 ③電話番号をお伝えください。

TEL 078-304-3013 FAX 078-304-2713

Mail chi-ki@ml.huhs.ac.jp

電話の受付時間 平日（月～金）9：00～17：00



兵庫医療大学
社学連携推進機構

協力：港島あんしんすこやかセンター

「認知症になってもできるだけ自分らしく過ごすために」

健康・生活・安心サポート 健康生活を守るための介護予防・介護する人の支援」も今年8年目を迎えることになりました。認知症のこと、介護のことなど講義や茶話会などさまざまな方法で学びの場となってきたと思っております。

今年度第2回は、認知症になってもできるだけ自分らしく過ごすために、自分でできること、地域で支えあえることについて、一緒に考えていきます。

兵庫医療大学 教員からは、一般的な認知症の症状や早期発見のめやすについてお話しさせていただきます。そして、兵庫医療大学に一番近い「港島あんしんすこやかセンター」の職員のご協力をえて、みなさまにより身近な視点で、ご近所に認知症の方がいらした時にどのような関わりを持てるのかなど講演と事例検討を組み合わせ、みなさまと一緒に考えていきます。

認知症になるのを防ぐことも大切です。認知症の疑いが現れたときに早期に気づき行動することも大切です。

そして、もし認知症になったとしても、できるだけ自分の今の生活を長く続けられる工夫がきっとあります。それは地域のみなさまとのグループワークの中から見出されると思っております。

ぜひ、ご一緒に考えてください。

今回、FAXでお申し込みの方は、この用紙にご記入の上、下記までご送信ください。

FAX送信先 078-304-2713



☆第28回 「認知症になってもできるだけ自分らしく過ごすために」
申し込み用紙

ふりがな		性別
お名前		男・女
ご住所		
連絡先電話番号		
ふりがな		性別
お名前		男・女
ご住所		
連絡先電話番号		

※車でお越しの方は、駐車場の数に制限がありますので事前にご連絡ください。